



めくるくん

図書館 めくるくん通信

図書館 ☎ 69♦3706

図書館へ行こう

◆楽しいよ！児童室「おはなしの部屋」

本との出会いがここから始まります。赤ちゃんから楽しむことができる絵本をどうぞ。育児の参考になる離乳食の本やコミック、子育て雑誌もあります。

★ブックスタートコーナー



初めて本に出会う赤ちゃんにおすすめの絵本を集めました。絵本を通してあたたかく楽しいひとときをお楽しみください。

★毎週金曜日は「あかちゃんタイム」

午前10時30分～正午

赤ちゃんと一緒に、図書館で過ごす時間を楽しみませんか？気軽に遊びに来てくださいね♪

午前11時からのおはなし会もどうぞ。



図書館に入った本

毎月1,000冊以上の本が入ります。
一部をご紹介します♪



『村上春樹翻訳<ほとんど>全仕事』

村上 春樹／著 中央公論新社

『老いと収納』

群 ようこ／著 KADOKAWA



『ラクする作り置き』

スガ／著 セブン&アイ出版

『いけやの料理帖』

いけや 賢二／著 ワニブックス

『ミックスサラダ』

中村 奈津子／著 主婦と生活社



『妊娠・出産1年生』

竹内 正人／監修 リベラル社

『赤ちゃん和妈妈のための

「朝までぐっすり睡眠プラン」』

キャサリントビン／著 大和書房



『毎日新聞・校閲グループの

ミスがなくなるすごい文章術』

岩佐 義樹／著 ポプラ社

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時は
お気軽に職員にお尋ねください。

新種疑惑の深海ガニ

読む



水族館



館長 小林龍二

竹島水族館
☎ 68♦2059

■図鑑に載っていない

先日、水族館に正体不明のカニが形原の漁師さんから持ち込まれました。今まで見たことがないカニでしたが、全身トゲトゲで甲羅がイボイボ、鮮やかな赤い色をしている特徴的な姿だったので、すぐに名前は分かるだろうと思いましたが、まかせて展示裏の水槽に収容したのですが名前がよく分からないとのこと。その日の午後に漁師さんがひょっこり現れて、あのカ

■調べるのは副館長担当

こういう時の漁師さんは、すごく嬉しそうで、必死に図鑑で調べ、悩む飼育員を楽しそうに眺めている。

■新種なのか

今回のカニはやはり専門家でも今まで見たことがないということ、新種もしくは希少種であります。

ます。新種だったら快挙です。実際、形原の漁師さんが見つけて水族館に持ち込まれ新種だった深海の生き物もいますからね。難しいよく分からない生き物は私は苦手で見なかったことにしてしまっていますので、それはいかん、ということでも学生時代に分類を専攻していた副館長の戸館が請け負って、いつも基本的なきっちりカタをつけてくれます。ネットワークを駆使して大学の教授や博物学の専門家と連絡を取り写真を送って詳しく調べてもらいます。

知られていないカニの子どもたちの姿（親と子供で形が異なるカニもいます）かもしれないということでした。詳しく調べられて新種となると水族館も嬉しいですし、新種には発見者に命名権があるので、漁師さんや船の名前がつくこともあり漁師さんにとっても一つの勲章になります。研究者とのやりとりや論文の執筆などかなり（副館長が）手間がかかるのですが（副館長が）頑張ります。新種だと期待したいですね。

